

# 2018(平成30)年度事業計画

2018(平成30)年4月1日から2019(平成31)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業実施の方針

東日本大震災から7年が経過した。新しい駅舎の完成や高台移転の開始などがニュースとなるも、未だ沿岸部のハード整備は続けられているのが現状である。数度の転居を強いられた結果によるコミュニティの分断の課題は、最悪の場合、孤独死という深刻な現実となって表面化する。もともと東北地方に存在する若者流出や過疎化などの問題も重なっている。さらに、原発事故を抱えた福島県では、仮設住宅家賃供与の停止や避難指示の解除など、帰還政策が実行されるなか、肝心の県民の意識が追い付いていない。個々の抱える課題は、ますます深刻化・個別化している。

一方、熊本地震による被災者は、恒久住宅への移転や復興まちづくりという根本的な課題に向けた取り組みが本格化しているが、全国的にも風化は顕著で、息の長い支援が求められている。

こうした現状を踏まえ、宮城県七ヶ浜町での継続的支援は、生の声を聞き、被災者のニーズに対応してきた当法人への期待となって、行政からも住民からも支持を得ており、本年度もスタッフを常駐させる。「みんなの家きずなハウス」(みんなの家プロジェクトと当法人の共同事業)は1周年となり、地域の賑わい・憩いの場として位置づけが増している。また七ヶ浜の中学生をはじめとする、自分たちの町の魅力を伝えたいと積極的に活動している若者へのサポート活動を継続する。愛知県への県外避難者への支援は、愛知県被災者支援センター運営業務を通じて継続する。また、福島県民の生活再建支援(帰還支援含む)と交流事業も継続する。

熊本地震については、御船町を中心に、地域支え合いセンターの動きと連携しつつ、地元の行事に合わせて訪れることにより、現状見学と交流を目的としながらも、被災地に負荷をかけない交流を実施する。

集中豪雨水害に対しては、タイムリーな支援と同時に、避難所環境改善支援や技術系ボランティアなど専門性のある支援がムラなく行えること、また、JVOADの枠組みを活用しつつ、災害支援団体間はもちろん、内閣府、地方自治体、企業等多様なセクターとの連携強化をめざす。

平常時の活動では、地域や子ども向け防災啓発活動、避難行動要配慮者支援、避難所運営、外国人支援などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に開拓・提供していくことを忘れず、以下の事業を進める。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員4名、嘱託職員5名、アルバイト4名

【七ヶ浜みんなの家きずなハウス】嘱託職員2名、アルバイト3名(現地採用)

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員2名、派遣アルバイト2名

## 3 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
東日本大震災支援関連	七ヶ浜町基本支援	RSY ■みんなの家きずなハウスの運営(駄菓子・ボーちゃん焼きの販売、コミュニティスペースの運営(月間1,100名が利用)) ■外部支援者の受け入れ・コーディネート
	復興庁「心の復興事業」(七ヶ浜町補助金事業)	RSY 「地域への愛着と温かな人間関係を育む場作り応援事業」 ① 地域の伝統行事「ちゃせご」の復活②きずな食堂開催③チャレンジキッチン開催④きずな公園の整備を通じて、災害公営住宅や防災集団移転者の孤立や生活不活発病の防止と多世代間の交流の機会を作る。

	絆力（宮城県補助金事業）	RSY	「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」を中心にした学びと活動の場作り支援事業 ①地域活動ネットワーク「きずなネット」への学びと活動の場の提供（研修会、合同イベント、定例会議の実施）②「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」での集いの場作り（賛同9団体の活動サポート、ファームガーデンの整備）
	ネットワーク		■東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参画 ■愛知県被災者支援センター（愛知県委託事業/事務局担当） ■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画
	県外避難者支援	RSY	愛知県被災者支援センター業務・福島県受託事業の運営、活動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など。
緊急救援		RSY	災害現場へのスタッフ派遣、資機材送付
災害ボランティア活動 資機材の調査	災害ボランティア 支援プロジェクト 会議(支援P)		前年度からの、持ち越しで、報告書の完成を6月末予定
福島県県外避難者への 相談・交流・説明会事業	ふくしま連携復興 センター		福島県から岐阜・三重の二県に避難している方の帰還や定住等の生活再建に向けた相談窓口の開設。福島県の支援策情報を避難者へ提供する相談交流会の岐阜・三重での開催。
福島県ふるさとふくしま 交流・相談支援事業 (福島県補助金事業)	RSY		■福島県から岐阜・三重県に避難している世帯に対する戸別訪問。■愛知・岐阜・三重の3県に避難している世帯を対象にした福島ツアーの実施。
避難先（借り上げ・建設 型仮設住宅）と避難元地 域住民のためのきずな 再生事業 (ボラサポ九州助成事業4次)	RSY		御船町地域支えあいセンターと支援団体ネットワーク「みふねっと」および熊本災害ボランティア支援ネットワーク（KVOAD）と連携し、御船町上野地区南田代1区・2区住民らとの交流企画、復興まつりなど住民集いの場づくりの支援、災害公営住宅移転に向けた支援サポート等を実施
周年	RSY・各地の被災地		■東海豪雨を語り継ぐ集い(9月) ■阪神・淡路大震災(1月) ■東日本大震災等(3月)の行事への参加等。
復興支援	RSY		■被災地復興イベント支援 ■被災地と被災地をつなぐ。
東日本大震災犠牲者追 悼式（名古屋市内で実 施）	東日本大震災犠牲 者追悼式あいち・ なごや実行委員会		愛知・名古屋のNPOなど団体が実行委員会形式で行っている追悼式。献花、14:46の黙とう、キャンドル点灯、追悼のメッセージ(宣言文)の読み上げをし、追悼と風化防止に努める
ぼくの夢、わたしの夢 (FOR子ども支援基金)	RSY		東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたちの叶えたい夢を応援する活動。将来の夢について作文を募集し、入選者には、その欲しいものを届け、その後の活用の様子などをレポートしてもらう企画。4回目。
<b>調査研究・出版事業</b>			
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>	
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員	
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業、NPO法人達人塾ネット設立への参画など	
大学連携	名古屋学院大学	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の一環として、「減災福祉まちづくり学・演習」講師受託。	
避難所生活改善のため のツール開発 (WAM助成)	RSY	冊子「避難所運営の知恵袋」の改訂版作成と、動画ツールを作成する。改訂版をテキストとしての研修会も予定している	

人材交流・ネットワーク推進事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
会員寄附拡大	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策。ボランティアの拡大も含む
RSY ボランティア DAY	RSY	主に RSY 企画の実施時に、広くボランティアを募集して活動していただく
名古屋ネット	名古屋市など	■なごや災害ボランティア連絡会／なごや防災ボラネット参画■三遠南信交流会■子ども防災デイキャンプ■名古屋市職員研修受入
愛知県ネット	愛知県など	愛知県防災会議・同幹事会出席。防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席。あいち防災協働社会推進協議会定例会出席。県二年目研修生受け入れ。
岐阜県ネット	岐阜県など	岐阜県災害ボランティア連絡会出席。清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーター委嘱、コーディネーター会議、げんさい楽座への参画、岐阜県防災リーダー育成研修講師など
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	静岡県ボランティア協会：静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加、同訓練ワーキンググループへの参画。
全国ネット	全国の NPO・NGO・社協・企業など	東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) 代表世話人、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援 P) 幹事、震災がたなく全国ネットワーク (震つな) 事務局担当・代表・事業担当。NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 代表理事・運営委員・避難生活改善に関わる専門委員会・技術系専門委員会担当
NPO ネット	名古屋市内 NPO 等	中間支援 NPO などとの交流・連携。東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会参加。
愛知県内 NPO 連携事業	RSY	災害関連の NPO にとどまらず、大規模災害時を見据えて、事前のネットワーク化に取り組む
東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業 (タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム助成事業)	RSY	東海地域避難者支援ネットワーク化推進事業の 4 年目。愛知・岐阜・三重・静岡 4 県のネットワーク間の連携の実績も積んでいく。避難した当時は、小学生で自分の意思を表現できなかった子どもたちが高校生となり、出身地への想いを募らせていることを汲み取る支援を考えている
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	監修、運営補助
あそぼうさいまなぼうさい	RSY	あそぼうさいまなぼうさいの新規出し物を検討 (水害バージョン)。
海でつながるプロジェクト 2018	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民むけ家族防災イベントの防災コーナーを担当。
あそぼうさいまなぼうさい in リーフウォーク稲沢	稲沢市	ユニー(株)と共同で、稲沢市の協力も得て、ショッピングモールでの子ども向け防災イベント。
東日本大震災犠牲者追悼式 (名古屋開催)	東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会	NPO を中心とした、実行委員会による名古屋開催の追悼式。RSY は実行委員メンバー。
多文化防災ネットワーク	多文化防災ネットワークあいち・なごや	愛知・名古屋の災害時の外国人支援について、学び、連携を強化していく活動。RSY は発起人。参加。
社会見学、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学、高校生インターン、大学生インターン受け入れ
養成講座・研修事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
みずから守るプログラム	愛知県	地区別フォーラム・商業施設活用型フォーラム、コーディネーター育成、地域への伴奏支援など

中学校防災講演会	大府市	市内中学校4校を対象とした講演会。
避難所運営	名古屋市市中村区	モデル地区住民向けの避難所運営訓練
ガイドブック作成	名古屋市中区	災害時要援護者（障害児者）支援ガイドブックの作成支援
地域防災リーダー養成講座	清須市	地域防災リーダー養成のための講座。全4回
防災ネットきずこう会支援	高浜市	事業者向け防災対策の推進、防災リーダー養成講座。防災リーダー養成講座（基礎編、フォローアップ編）、外国人向け・要配慮者・福祉避難所向け防災・減災イベント
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WSなど。
自主防災組織活性化	安城市 ・安城市社協	北中学校区をモデル地区に避難所開設訓練を実施。また、市内福祉施設・当事者団体らと共に中央福祉センターに指定された福祉避難所の開設訓練およびマニュアル作成を実施
減災まちづくり研究会運営支援	安城市	安城市が設置した減災まちづくりの研究会の企画・運営。昨年度の「家具等転倒防止」の継続と今年度は「備蓄」をテーマに年間を通して取り組む。
地域防災リーダー育成講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会。
各務原市防災ひとつづくり講座	岐阜県各務原市	地域の防災リーダーの養成（講演・WSを4日間で実施
災害VC養成・フォローアップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座27期28期。フォローアップ講座
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out（指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練）。9月11日実施のほか、実行委員会3回、事前学習会、事後報告会も開催。
防災フェスタ	なごや防災ボラネット	防災啓発イベントのための、防災コーナーでの企画・運営。
防災研修事業	日進市	梨の木小学校区をモデル地区に避難所開設訓練（講演会、WS、訓練等を実施）
豊田市朝日丘地域会議 防災事業	豊田市	朝日丘地区の防災意識向上のための取り組みにアドバイザーとして参画。
豊田市梅坪台地域会議 防災事業	豊田市	梅坪台地区の2018年度実施事業を決めるための地域会議に参加。
避難所運営訓練に係る 事業	米原市	伊吹山中周辺地区をモデル地区とした、避難所開設訓練（講演会、WS等を実施）
災害VC運営マニュアル等の整備事業	日進市社協	災害VCおよび職員行動マニュアルの作成支援（講演会、研修委員会、マニュアル監修など）
被災者支援サポーター講座	RSY	災害支援をテーマとした人材育成事業。第2弾として、炊出し要員育成を行う。また、若手研究者（大学等）と、RSY会員・スタッフを対象とした勉強会等も企画する。
広報関連事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連携先</b>	<b>事業内容</b>
あるある(機関紙)	RSY	年6回発行。ボランティアによる「編集会議」実施（週一回）。会員、その他関係機関などを対象に約600部。
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
各種検討会等		
<b>依頼元</b>	<b>内容</b>	
内閣府	■防災ボランティア活動の環境整備に関する検討会 ■防災教育チャレンジプラン実行委員会 ■中央防災会議災害対策標準化推進ワーキンググループ(栗田)	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■愛知県防	

	災対策有識者懇談会(栗田) ■あいち防災協働社会推進委員会(栗田) ■愛知県防災会議(栗田)・同幹事会(浜田) ■愛知県防災人材のあり 方検討会(栗田) ■愛知県みずから守るプログラム有識者会議委員 (栗田)	
岐阜県	■清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター(栗田) ■岐阜県災害ボランティア連絡会(栗田)	
茨城県	■茨城県減災対策検討会議委員(浦野)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■名古屋市市民活動 推進協議会(栗田) ■地域福祉に関する懇談会(栗田) ■防災条例の見 直しと防災施策の推進に関する有識者懇談会(浦野)	
名古屋環境大学	■活動サポートチーム委員(浦野)	
名古屋しみどりの協会	■戸田川賢人会委員(浦野)	
愛知県社協	平成30年市町村社協災害対応支援部会(浦野)	
名古屋国際センター	アドバイザー委員会(栗田)	
中央共同募金会	■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(栗田) ■赤い羽根チ ャリティホワイトプロジェクト選出委員会(松山)	
静岡県ボランティア協会	■南海トラフ巨大地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員 会(浦野・松山) ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワ ーク常任委員会(栗田) ■静岡県内外の災害ボランティアによる救援活 動のための図上訓練ワーキンググループ(松山)	
日本災害復興学会	副会長・理事(栗田) 理事(浦野)	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会(浦野)	
全国社会福祉協議会	都道府県における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会 (松山)、災害ボランティア活動ブックレットシリーズ製作委員会(松 山)	
非常勤講師		
依頼元	内容	
至学館大学	総合社会参加(ファシリテーション)論(栗田)	
岐阜大学	防災リーダー育成講座(栗田)	
日本福祉大学	災害ソーシャルワーク(浦野)	
被災地スタディツアー事業		
事業名	主体・連絡先	事業内容
スタディツアー	RSY	1.17 阪神・淡路大震災、田麦山交流会参加等

収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」「避難所運営の知恵袋」震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD/防災紙芝居の販売。七ヶ浜きずなハウス/オリジナルギフトの販売。
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等)